第５号

連携教育通信

２０２６年１１月１６日
中野区教育委員会　事務局
指導室　就学前教育推進担当
中野区中野４－11－19
中野区役所　７階

＜中野区の保幼小中連携教育について＞

中野区の保幼小中連携教育では、

・すべての子どもたちの就学・進学に伴う不安の解消を図り、子どもたちが安心して学び、一人ひとりの個性を生かしながら成長できることを目指します。

・１５年間の学びの連続性を踏まえたカリキュラムの連携により、子どもたち一人ひとりがこれからの社会を生き抜くための力を育むことを目指します。

の２本の目的のもと、【自ら挑戦し、仲間とともに未来を創ろうとする子ども】を保幼小中連携教育の目指す姿に設定しています。

今回の連携教育通信では、中学生と園児の交流についてお知らせしたいと思います。

始めは、中学校の職場体験の中での中学生と園児との交流です。

お互いに初めこそは緊張した表情をしていましたが、徐々にお互いを受け入れ、関わりを楽しんでいました。





一度関わりが生まれると、園児は一緒に遊びたくて次々と話しかけたり、絵本を持ってきて何度も読んでもらったりしていました、中学生もそれを優しく受けとめて、穏やかな雰囲気のなか交流を楽しんでいました。

（写真は第二中学校と本町保育園の交流です。）



続いては、中学校に保育園児が遊びに行きました。保育園にある鉄棒よりも何倍も大きい鉄棒を下から見上げ、驚きと憧れの表情を見せていました。校内に入り、中学校の施設を間近で見たり、触れたりすることができて、とても良い体験となりました。



その後、ちょうど練習をしていた野球部の生徒が、校庭を園児と一緒に走ってくれました。始めは緊張していた園児も、自分たちのペースに合わせて声をかけながら、笑顔で接してくれる中学生の姿に安心して笑顔で走っていました。

（写真は南中野中学校と弥生保育園、南台ちとせ保育園の交流です。）

就学前の園児と中学生との交流は、今回のような訪問活動だけでなく、中学生がボランティアとして保育現場に関わる取組も行っています。

このような交流は、【１５年間の学びの連続性、子どもたち一人ひとりがこれからの社会を生き抜くための力を育む】ための大切な機会となっています。

園児にとっては「あのお兄さん、お姉さんのようになりたいな」、中学生にとっては「自分にもこんな頃があったな」と、それぞれが成長を実感できる場にもなっています。

同じ地域で育つ仲間として、これからもこうした交流の輪を広げていきたいと考えています。